

おおさき 議会だより



交通安全教室(中沖小学校)

3月定例会

こんなこと決めました

- 令和6年度当初予算…………… 2
- 3月議会定例会審議結果… 7

- 町政を問う(一般質問)…………… 8
- インタビュー(ピックアップおおさき) …… 15
- 住民と議会と語る会…………… 16
- 町民の広場・編集後記…………… 18

暮らしのために 122億3,680万6千円 実施される取組み

タクシーチケット3万6千円分補助

自動車等運転免許証を持っていない高齢者等に町独自のタクシー利用券を発行

1,440万円



高校生等通学定期券購入半額補助

路線バスの維持と子育て世帯の負担軽減をはかることを目的に、公立高校に通う生徒のバス定期券購入を補助
(購入費用の1/2補助、助成上限月1万円)

1,000万2千円

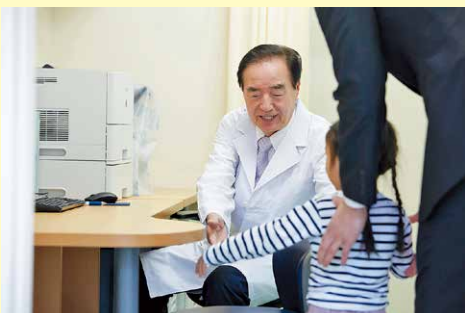


小児科・内科医を募集

大崎町開業医誘致制度を創設し、地域医療を担う医師不足を解消するための事前審査委員会時の報償費

3万円

※町内で開業すると、土地や建物、医療機器等の購入費用として、最大**1億円**を支援



大丸小学校屋内運動場床改修工事

子どもたちに安全な環境を提供するため、大丸小学校の屋内運動場の床を改修する工事

2,130万円



令和6年度大崎町一般会計予算

さらに住みよい

事業拡充や新たに

持留・大丸・中沖・野方小学校 特別教室等空調設備設置工事

学校環境の改善をはかることを目的に特別教室等に空調機器を設置

1億5,750万円



総合体育館リニューアル

令和6年度から2か年計画(総額約15億円)で改修を行い、体育館機能の向上に加えて、災害時の防災拠点としての施設整備を計画

7億500万円



今年もプレミアム商品券を発行

消費向上を目的として、引き続きひとり1万円分の商品券を配布

1億3,153万円



(参考)
左記チラシは
昨年作成したもの

学校給食費完全無償化

児童生徒の給食費保護者負担分の無償化や地場産物食材の購入費補助

4,749万7千円



新年度予算に付帯決議

令和6年度当初予算の可決に当たり、委員から付帯決議の動議が出され全会一致で可決

くにの松原観光施設 くにの松原観光施設管理委託料について、これまでもその内容や高額な単価設定、また、契約のあり方を指摘し、一部改善は見られるが、予算は前年度比16万4千円増の981万7千円である。指摘事項への改善や住民への透明性ある情報提供を求める。

スクールバス スクールバス運行业務委託料について、令和元年度より近隣と比べ高額な委託料や随意契約から競争入札への改善を求めた。バスの一部路線小型化による削減努力は見られるが、予算は、前年度比595万円増の3,076万円となっている。スクールバスの利用実態を踏まえ、さらなる改善を求める。

環境拠点整備 環境拠点整備事業について、町民の関心も高く、要望や運営に関する期待も多岐にわたることから、環境拠点整備事業実行委員会の協議内容を正確に運営、施策に反映させる必要がある。よって音声データによる議事録作成と、かつ民主的な意見交換が行われるよう求める。また、実行委員の学識経験者については、自他ともに学識経験者と認められる者を選考するよう求める。

総合体育館 総合体育館大規模改修工事について、太陽光発電設備は定期的な清掃や点検が必要なため、屋上設置では維持管理費に相当な費用を要する可能性が高い。また、施設屋根のメンテナンス時も太陽光発電設備の脱着等が必要となり、維持管理費増大の懸念がある。設置方法については、駐車場から体育館までの雨天対策等も考慮した、同施設の福祉利用の検討も求める。

また、緊急時発電装置について、動力燃料の重油を酸化防止のため停電時以外に消費使用することは脱炭素の取り組みと逆行する。近隣自治体では、LPガスエネルギーを取り入れている事例もあることから、動力源は再度検討することを求める。(関連記事3ページ)

さらに、当総合体育館は大隅半島でも有数の規模を誇り、活用方法については大きな可能性を持っている。改修を経て、当総合体育館が新たな賑わいを生み出す施設となるよう、各課のまちづくり及びスポーツ振興に関わる政策と密に連携しながら検討を進めることを求める。また今後の利用構想については、町民からの提案や民間の活力を取り入れるなど、収益性や地域経済への波及効果も視野に入れた、持続可能な運用方法の検討を求める。

予算関係

高齢者運転免許証自主返納者報償
10万円増額

質問 予算が増額となっているが、今年度の実績見込みは。

答弁 この制度は、75歳以上の高齢者が、運転免許証を自主的に返納した場合の報償費で、申請者ひとり当たり、1万円を支給している。今回、10万円の増額をお願いし、実績見込みとして、60名を想定している。

大崎町地域猫活動等事業補助金
10万円減額

質問 申請件数と何匹の猫に對して、避妊または去勢の手術に要する費用の一部を助成したか。

答弁 申請件数は2団体で、助成の実績は3匹分である。3月中に1団体が1匹分を申請予定である。

保育所等送迎用車両

安全装置設置補助金
48万4千円減額

質問 安全装置の設置台数と設置率は。

答弁 保育所等は町内に7か所あり、設置台数は12台で、設置率は100%となっている。



安全装置設置済のバス

大崎クリーンセンター
維持管理業務委託料
161万5千円減額

質問 補正減の要因は。
答弁 令和6年度から公共下



上空からの大崎クリーンセンター

水道事業会計が公営企業会計に移行することから、出納整理期間がなくなるためである。

(要望)

公共下水道事業の安定した運用及び対応のため、水道課における公共下水道事業の技術管理者の確保及び資格研修等による技術者の早期育成並びに職員の人員増を人事担当課へ要求されるよう全委員の意見一致のもと要望した。

菱田中学校跡地の地域活性化のための活用に関する請願書

請願者 川畑 光三郎 氏
紹介議員 児玉 孝徳 議員

(趣旨)

菱田中学校跡地に、地域活性化のための菱田コミュニティ協議会センター(仮称)等を設立していただきたい。

質問 菱田地域だけでなく、大崎町全体において人口減少、特に若い世代が減少している状況と思われるが、コミュニティ協議会センターが設立された場合、担い手の確保はどのように考えているか。
答弁 人材の確保については、菱田地域の方に限らず、地域おこし協力隊の方々等にもご協力をいただきながら、運営を継続できればと考えている。

発委(第1号)

「錦江湾横断道路」の早期事業化を求める意見書を提出した。

提出者 文教経済常任委員会
委員長 平田 慎一

提出の理由

「錦江湾横断道路」は薩摩半島と大隅半島を結び、交通の利便性の向上や生活圏域の拡大、観光資源としての活用など、大隅半島はもとより、九州南部地域の産業・経済及び文化の発展に寄与するとともに、近年、頻発・激甚化傾向にある自然災害への対応や救急医療体制の確保など、防災・医療の観点からも必要不可欠な道路である。

「錦江湾横断道路」を構想路線から「実施路線」化、併せて早期事業化されるよう強く要望するものである。

(意見書の提出先)
鹿児島県知事



県知事へ意見書提出



発議(第1号)

不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書を提出した。

提出者 藤田 香澄
賛成者 平田 慎一
児玉 孝徳

(議会から国への意見書)(要旨のみ掲載) ※修正箇所は青文字。

令和4年度の義務教育段階における不登校児童生徒数は全国で29万9048人と10年連続で増加しており、鹿児島県内でも3743人が不登校と、依然高水準で推移している。

フリースクール等を利用する際の家庭や当事者の負担は大きい。このような負担を抱えた家庭や当事者に対して国費による支援が必要と考える。

国会及び政府におかれては、次の措置を講じられるよう強く要請する。

1 国で附帯決議した九、「不登校の児童生徒が、いわゆるフリースクール等の学校以外の場において行う多様な学習活動に対しては、その負担の軽減のための経済的支援のあり方について検討し、その結

果に基づき必要な財政上の措置を講ずること」を早急に進めること。

2 国で附帯決議した六、「本法第十条に定める不登校特例校の整備に当たっては、営利を目的とする団体による設置・管理には慎重を期すこととし、過度に営利を目的として教育水準の低下を招くおそれがある場合には、これを認めないこと。また、不登校特例校や本法第十一条に定める学習支援施設の運用においては、本人の意思を尊重することが重要であり、不登校となつた児童生徒が一般の学校・学級で学ぶ権利を損ねることのないようにすること。



人事案件

固定資産評価審査委員会委員として、次の方を同意しました。



氏名 住所
川添俊一郎氏(64歳) 大崎町神領



氏名 住所
濱口 博氏(75歳) 大崎町菱田

3月定例会議案等に対する採決状況一覧

(○賛成 ●反対 議長(富重幸博)は表決に加わらない。)

議案等の番号	件名	賛 否 の 意 思 表 示												議決結果
		藤田香澄	草原正和	岡元修一	平田慎一	児玉孝徳	稲留光晴	神崎文男	宮本昭一	吉原信雄	中山美幸	中倉広文	富重幸博	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度大崎町一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(大崎町手数料条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第1号	大崎町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第2号	大崎町農業研修館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第3号	大崎町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第4号	大崎町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第5号	令和5年度大崎町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第6号	令和5年度大崎町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第7号	令和5年度大崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第8号	令和5年度大崎町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第9号	令和5年度大崎町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第10号	令和6年度大崎町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第11号	令和6年度大崎町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第12号	令和6年度大崎町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第13号	令和6年度大崎町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第14号	令和6年度大崎町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第15号	令和6年度大崎町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第16号	大崎町老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第17号	大崎町シルバーワークプラザの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第18号	大崎町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第19号	大崎町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第20号	大崎町農業機械の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第21号	大崎町農業機械運営審議会条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第22号	鹿屋市との間において締結した定住自立圏形成協定の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第23号	大崎町奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
発委第1号	「錦江湾横断道路」の早期事業化を求める意見書(案)の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
発議第1号	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	修正可決
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	同意
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	同意
請願第1号	菱田中学校跡地の地域活性化のための活用に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択

一般質問

いな 稲 どめ 留 みつ 光 はる 晴 議員

- ・介護保険について
- ・後期高齢者医療について
- ・能登半島地震の教訓と本町の課題について
- ・本町基幹産業について



P 9

ひら 平 た 田 しん 慎 いち 一 議員

- ・施政方針について
- ・スポーツ振興について (陸上競技の聖地創り等)



P 10

くさ 草 はら 原 まさ 正 かず 和 議員

- ・大地震・大津波について



P 11

なか 中 やま 山 み 美 ゆき 幸 議員

- ・中学校入学説明会及び学校運営について
- ・大崎町環境拠点整備実行委員会運営について



P 12

こ 児 だま 玉 たか 孝 のり 徳 議員

- ・防災行政について



P 13

ふじ 藤 た 田 か 香 すみ 澄 議員

- ・福祉バスの利用促進とサービスの拡充について



P 14

6議員が登壇

町政を問う

一般質問とは

町長などの執行機関に対し、業務の執行状況や将来の方針などについて議員個人として政策論争を行うものです。

二次元コード※をスマホ等で読み込むと各議員の一般質問を視聴できます。

※バーコードを拡張するために開発された二次元コードは、端末を使って簡単にコードを読み取ることができます。

令和6年度は介護保険料負担 軽減ができるのか

基準額は令和5年度と同じ月額 6700円で据え置く



稲留 光晴 議員

問 介護保険料の負担を増やさず、据え置きを求めてきたが、令和6年度は負担軽減ができるのか。

答 町長 基準額は月額6700円である

答 町長 基準額は月額を据え置きしており、所得段階9段階から13段階までに細分化され、低所得者の保険料を軽減している。

軽減後で、月額1001円の軽減額で滞納者は減るか

問 第1段階から第3段階の低所得者は令和5年度より月額1001円の軽減額で滞納者は減らせるのか。

滞納者の方々に納入の
お願いをしていく

答 町長 今回は1001円の結果が出て、少しでも滞納の状況から軽減されていくのではないかと。滞納者の方々に納入のお願いをしながら地道に取り組む。

低所得者負担軽減金額

(単位:円)

		月額	年額	軽減後(月額)
第1段階	8期	2,010	24,120	
	9期(令和6年度より)	1,909	22,914	△101
第2段階	8期	3,350	40,200	
	9期(令和6年度より)	3,249	38,994	△101
第3段階	8期	4,690	56,280	
	9期(令和6年度より)	4,589	55,074	△101

介護基本報酬引き下げで
介護事業者への問題は

問 訪問介護事業者におけるサービス報酬引き下げでの問題は何か。

事業運営が厳しくなる
ことが予想される

答 町長 地方における訪問介護事業所は運営が厳しくなる。ヘルパーの高齢化、人材不足も問題である。

後期高齢者医療保険料
はいくら増えるか

問 令和6年度から見直しが行われる。5年度に比べ負担はいくら増えるか。

均等割額と所得割率(行政データを基に本人作成)

	均等割額(円)	所得割
4年度~5年度	56,900	10.88%



6年度~7年度	59,900	11.72%
---------	--------	--------

3,000円の増 0.84ポイント増

一人当たり4632円の
増額見込みとなる

答 町長 均等割が3000円の増、所得割が0.84ポイントの増となる。
税務課長 令和6年度は一人当たり5万1325円、5年度対比で4632円の増額見込みとなる。

2年ごとの定期的値上
げには反対である

問 年金は減らされ続けている中で、支払う保険料をなぜ定期的に値上げをするのか。

後期高齢者数の増加と
子育て世代への支援

答 保険料の基礎となる医療費などの費用、後期高齢者数の増加、出産育児一時金の後期高齢者医療制度からの支援が始まることなどが大きな要因となっている。

医師不足解消の施策は

小児科・内科診療を主とした誘致を目指す



平田 慎一 議員

誘致を目指す

問 開業医だけでなく勤務医招致の手法も踏まえ、小児科・内科に併設した病児・病後児保育も取り入れるべき。

意見を踏まえ取り組む

問 子育て支援、介護や高齢者対策に直結する医療施設の減少・医師不足解消の施策を示せ。

開業医の誘致をはかる

答 町長 町内いずれも65歳以上の開業医で、医師の誘致支援に最大1億円の補助施策を行う。曾於地区内の小児科が全て閉院しているなか、小児科・内科の診療施設誘致を目指す。

勤務医の招致や病後児保育も取り入れるべき

答 町長 本町は疾病に伴う死因が全国平均をはるかに超え高い。食事療法と運動療法を重視した取り組みが必要なので、ウォーキングを推進し、重症化予防及びフレイル予防に努める。

※加齢で心身が老い衰えた状態

標準化死亡比

	男性	女性
大崎町	117.2	107.2
県	103.1	99.7
1位の県	119.1	110.8

男性:本町は全国ワースト1位に次ぐ高さ
女性:本町は全国ワースト3位に次ぐ高さ
脳出血・脳梗塞・急性心不全・心不全・腎不全が高い

健康増進施策の方向性は

答 町長 まず小児科・内科医誘致を考え、住んで安心できるまち、子育て中の人が将来的に安心できる意見も踏まえ取り組む。

健康課題の共有及び健康に対する情報提供を行う

問 本町の標準化死亡比、特に脳出血、脳梗塞、心筋梗塞、心不全、腎不全などの死亡要因が高い。町民に対し情報提供・啓発を行うべき。

今後の竹・福・商連携、資源化モデルの方向性は

早世予防から見た死亡

	町	県	国
男性	14.8	10.2	10.6
女性	3.8	4.9	5.7

(65歳未満死亡者) R4年22人

男性の早世死亡率が国・県より高い

若い世代からの
予防が必要

他の地区でも実施したい

答 町長 新年度は慶應義塾大学とサポート業務委託を考え、宮園集落の活動は、地域おこし協力隊の活動を継承し、竹林整備や農・福連携など他地区での実施も考える。

多面的機能向上対策事業の取り組み改善を

問 危険箇所や急斜面・高土手等、法面吹き付けをし、作業の危険度を減らす取り組みが必要。



横瀬地区水田法面吹付

危険箇所は町単事業も考える

答 町長 県の土改連に要望を続け、危険な農地法面は、町単事業で現地を見て判断する。

スポーツ振興の進捗は

問 陸上競技の聖地創りの進捗状況、町民へのメリットを含めた方向性は。

ジャパンアスリートを拠点に、引き続き取り組み

答 町長 合宿者がリピーターとなる事業を進め、アスリートと住民が触れ合う機会や経済への波及効果・町民のスポーツに取り組む機会に繋げる。

4コースに外灯設置を

問 マラソンコースに外灯の設置が必要、寄付やクラウドファンディングの手法も取り入れるべき。

外灯は考えていく

答 町長 コース設定内に照明がとれるか改めて担当課で考える。

※その他の質問

本町独自のスポーツ振興に対する功労表彰を考えるべき

問 今後の慶應義塾大学との連携及び宮園集落の活動体制や仕組みをどのように波及していくのか。

大地震・大津波の被害想定は

死者・負傷者ともに多数



草原 正和 議員

定電話にも被害が生じると想定している。

断水時の復旧対策は

問 災害時に水道管復旧工事ができる事業者の確保はどのようになっているか。

町内3社、町外2社

答 水道課長 本管工事ができる事業者は、町内3社、町外2社で、曾於市・志布志市と広域連携協定も結んでいる。

水道工事業業者の育成を

問 大規模災害時は近隣市町村も被災している可能性が高く、町内事業者がいち早く復旧に努めてくれると思うが、町内事業者は減少の傾向がある。民間企業ではあるが

公共性が高いことから奨励金や技術者育成等の援助の考えはないか。

24時間体制が大きな要因

答 町長 水道事業は昼夜・土日の区別がなく、いつ破損するかわからないので常に態勢を整えておかなければならない。人員の確保が必要なのが厳しい要因になっているため、どのようにカバーできるか研究していく。

消防団に救助用資機材の導入をすべき

問 多くの全壊、半壊を想定しているが、消防や自衛隊等の救助が来るまでには時間を要する。迅速な救助活動のために、役場や地元消防団に工作車や油圧工具、切断機等の救助用資機材を導入し、一人でも多く人命を救助する考えはないか。



救助用資機材

整備は必要と考える

答 総務課長 大規模災害時に同時多発する救出救助に対処するには救助用装備、資機材は必要と考えている。消防署ではおおむね確保できていると認識しているが、初期活動に携わるのは地元消防団である。消防団幹部の意見を聞きながら検討していく。

防災センターの設置を

問 東串良町の防災庁舎、防災センターを視察したが、防災拠点として大変すばらしい施設であり、本町にも設置すべきと思うが検討できないか。

必要性は十分認識

答 町長 必要性は十分認識しているが現段階では計画はない。役場本庁舎の移転と同時に計画を立てながら動いていかなければならないと考えている。役場本庁舎については、国の補助事業で空調施設等を導入しており、約10年は移転が困難である。

答 町長 最大クラスの南海トラフ地震が発生した場合、最大震度6弱、最大津波高7・32m、全壊310棟、半壊1000棟、死者40人、負傷者20人、避難者1080人、帰宅困難者600人が被災すると想定している。ライフライン被害は、上水道の断水、電力及び固



東串良町防災庁舎
災害状況を把握することができるモニター

「誰一人取り残さない学び」の保障はできているか

子どもたちの夢や希望に前向きに取り組む



中山 美幸 議員

問 令和6年度、中学校新入学対象者説明会において、「部活動入部者の募集はしない」との中学校長からの説明があったが、行き過ぎた発言ではなかったか。次世代を担う子どもたちを育てる学校としての発言か。希望や夢を持つ新入学生の意欲をそぐもので、保護者や、新入生に対し理解できる発言であったか。その真意を問う。

廃部規定・部活地域移行・教職員の負担が理由

答 教育長 保護者に対し配慮不足、説明不足であり十分な理解に至らなかった。関係者との事前協議も十分でなく伝わりにくかった。国が進める部活地域移行や指導教員の負担にもなっている。部活の廃部規定はあるが、子どもたちを中心に捉え、新入生の保護者に対し募集できるような文書を出した。

町長 中学校に進学したら、吹奏楽部や陸上部などで活動して頑張ろうという夢を摘んでしまったことが大きな要因と思う。

体験・発表の機会を増やすべきである

問 例年卒業式では、吹奏楽部による演奏がある。今回の卒業式に向けて生徒より演奏したいと強い要望もあったと聞くが、学校から許可されなかったとのこと。日頃の成果を披露する良い場である。なぜこのような体験、発表する場を狭めるのか。

前向きに取り組んでいく

答 教育長 話を聞き心が痛む。卒業式などは約1か月くらい前から企画委員会、職員会議で話し合われる。子どもたちに軸足を置き、PTA、地域の声、総合的に判断すべきであり、今後、校長会、教頭会、研修会等で指導し、子どもたちの夢や希望に前向きに取り組んでいく。

部活地域移行状況を示せ

問 先般日本スポーツ連盟主催の研修会もあったが、校長の発言は、部活地域移行のことも要因とのことだ。本町における部活地域移行の現状進捗状況を示せ。

地域人材を活用した地域移行を模索している

答 教育長 部活動には生徒がやりたいスポーツや文化活動ができる良さが

ある。これまで通りスポーツ・文化活動に親しむ機会を確保する。少子化、教職員の業務負担などを考慮し、令和5年度から令和7年度までに段階的に地域移行するための検討を進めている。

意欲のある生徒は助成すべき

問 学校教育の一環として行われる部活であることとを考えると、参加者の安全、傷害の防止などそれらに対応できる知識を持った指導者が必要である。校内で行っていた活動が地域移行となると費用もかかるので、助成も必要ではないか。

対価は必要である

答 町長 対価としての考えはある。全てボランティアでの考えはない。



パート練習をする生徒

大規模災害時の犠牲者ゼロを

高台を目指し逃げるよう伝える



児玉 孝徳 議員

問 避難所となる総合体育館大規模改修は2年間で約15億円の予算が計上されているが、予算は適正に災害対策に充てられているのか。

答 大規模改修で快適に利用できるようにする

答 町長 避難所の機能を持たせるために、床の張替え、天井の改修や空調設備の新設及び停電時の発電機等が主で、適正な予算の執行とよりよい体育館の改修に努める。

消防分団詰所の建て替え改修の計画は

問 町内の各分団詰所は老朽化が進み女性団員が増えた現在、快適な環境ではないと思うが、建て替えや改修の計画はどのようなになっているのか。



昭和 54 年建築の中央分団詰所

答 町長 建て替えるは建設

答 町長 建て替えるは建設後60年経過する2039年から順次予定している。女性団員も増え、更衣室やトイレの改善は幹部会にも打診し、できる所はやっていききたい。

孤立集落の把握と水道の迅速な復旧計画は

問 本町で大規模災害を想定した孤立集落の把握や水道インフラの復旧対策、避難所への給水など、迅速な対応が取れるのか。

答 町長 災害・事故等

答 町長 災害・事故等における水道危機管理対策で対応を掲げている。孤立集落は土砂災害警戒区域の集落を想定している。

答 町長 犠牲者ゼロを目指す

問 東串良町は犠牲者ゼロを目指し、防災センター、津波避難タワー、避難誘導灯、さらに防災庁舎が整備されている。本町では南海トラフ地震時の死者数40人が想定されているが、防災庁舎

があれば災害対応が迅速に行えると考えるが、建設の考えはないか。



庁舎に連結して新築された防災庁舎

答 町長 現段階では整備の計画はない。まず高台を目指して逃げることを日々伝えていくことを優先して取り組むべきと思いついていく。

答 町長 現段階では整備の計画はない。まず高台を目指して逃げることを日々伝えていくことを優先して取り組むべきと思いついていく。

福祉バスの利用拡充をはかれ 交通空白地帯の解消を検討



藤田 香澄 議員

問 これまでの福祉バスの運行状況はどうか。

答 利用者数は増加している

町長 現在のコース設定をした令和3年11月の利用実績は延べ49人で、翌年同月は延べ66人、令和5年度同月は延べ77人と、同月で比較すると増加している状況である。

費用対効果はどうか

問 一人当たりの運行にかかる費用はどのくらいか。

答 一人1回の乗車で約1500円の費用が発生している

町長 人件費、バスの維持費、燃料費が経費の主なもの。年間延べ利用人数見込みの約920人で割ると一人1回の乗車で約1530円の費用がかかる。一概に費用対効果では判断できない。効果が薄くても継続しなければならぬケースもある。



福祉バスに乗り込む利用者

多様なニーズへの対応を

問 買い物目的だけではなく、サロンや体操教室など、多様なニーズに对应していけないか。

答 移動手段にどう困っているか把握したい

町長 令和3年度、高齢者を対象に移動手段の実態調査を行った。

結果としては、74.2%は車で移動。21.3%は家族や知人、バス・タクシーで移動。残り4.5%

が移動手段はないが、代替サービス等で買い物はできているという結果だった。実態が変わっている可能性もあるため、引き続き周知活動を行いたい。

福祉バスの運行について周知徹底を

問 対象者だけでなく、家族や若い世代も含めて広く周知をはかるべきではないか。

答 様々な周知方法も含めて検討したい

保健福祉課長 年に1回の広報紙での発信やケアマネージャーを通じて周知を行っているが、他の方法も含めて検討したい。

利用促進の施策検討を

問 路線の見直しや、高齢者だけでなく技能実習生も視野に入れた利用者の乗り合い、さらに、週末運行の検討など、利用

促進の施策を検討できないか。

運行の見直しを含め、様々な方の意見を聞きたい

町長 週末運行は町内の民間事業者への影響も考えられることから慎重に判断したい。

保健福祉課長 路線に関しては、1年あるいは数年パンで運行の見直しをはかりたい。



発着地点となる役場前のバス停



上門クラブ工房

上門 健さんに聞きました



上門クラブ工房
野球クラブ・ミッド製造販売
GateUp 代表 上門 健 さん

(福岡県出身、現在大崎町仮宿在住)



広報広聴常任委員会委員
草原 正和 議員

草原議員

大崎町に移住されたきっかけは何ですか。

上門さん

福岡県のスポーツ店でクラブ製造の仕事に2年間ほど携わっていたのですが、いずれは独立したい気持ちがありました。元々鹿児島のお客様も多く、独立する際、福岡が大崎町で悩んだのですが、お客様の要望もあり思い切って家族で大崎町への移住を決意しました。

草原議員

野球クラブのオーダーメイドとはどのようなものですか。

上門さん

店内のサンプルクラブをはめていただいて、サイズ等を調整し、お客様好みのデザインのクラブを製造しています。

草原議員

大崎町に移住して良かったことはありますか。

上門さん

地域のつながりが強いところと何か困りごとがあっても、周囲の方に相談しやすい環境が整っていることです。

また、子どもを育てる環境全般が福岡よりも良く、子どもたちも毎日楽しく過ごしています。

草原議員

クラブ製造の魅力とはどのようなものでしょうか。

上門さん

平面のパーツからどんどんクラブが立体的になって行く製造工程の楽しさ、また気持ちを入れて作ったクラブをお客様にお渡したときに喜んでもらった瞬間が魅力だと感じています。

草原議員

今後の課題はありますか。

上門さん

大崎町にソフトボール場が2面取れるようなグラウンド、室内練習場を整備してほしいと感じています。室内練習場は、近隣には鹿屋市串良町、串間市にあります。プロ野球選手を多く

数輩出している町だからこそ、雨天時の練習環境などをさらに充実させ、魅力をPRしてほしいですね。室内練習場を整備することで、プロ野球選手が自主トレキャンプを行うなど、交流人口が増えることも期待できます。

また、町内には診療所や商業施設、飲食店などが少ないため、今後そこを誘致することで子育て世代の若い方々が、居住先の選択肢として大崎町を認知してもらえると思います。



オーダーメイドバッグも販売中

◆上門さん、貴重なお話しありがとうございました。

開催日：令和6年1月18日(木) 場所：老人福祉センター

神崎文男議員、平田慎一議員、藤田香澄議員

意見交換を行いました。(いきいきクラブ)

問 益丸地区の信号が点滅にならないがどうかならないか。

答 信号機を点滅にした場合、事故が増加することが懸念されることから、県警から点滅にすることは困難との回答をいただいた。

道路での農耕車等使い方、マナーについて

問 農業法人等の道路での農耕車使用のマナーについて指導はできないか。

答 農業者の方には、町の担当部署で農耕車使用のマナー等についての協力をお願いしている。

施設について

問 老人福祉センター施設の空調について、空調設備を修繕することはできないか。

答 社会福祉協議会に指定管理をお願いしているため、要望があったことを伝え、今後、協議・検討いたします。(保健福祉課回答)

問 あすばる大崎へ福祉バスを運行してほしい。

答 現在の福祉バスは、住民のニーズ調査を行ったうえで、高齢者等の「買い物支援」をメインとした運行計画になっています。すべての要望を網羅することは容易ではないが、住民のニーズを聞き取りながら、今後再検討していく予定です。(保健福祉課回答)

問 アスリートトレーニングセンター周辺にコンビニを建てることはできないか。

答 菱田公民分館から菱田中学校跡地の活用に関する請願書が議会へ提出されており、今後周辺環境の整備に向けて協議を進める予定である。

問 町体育館の畳が非常に傷んでいるが何とかならないか。

答 令和6年度より町総合体育館の大規模改修工事を実施予定である。

防災無線について

問 防災無線について、全然聞こえないという人が多いが何とかならないか。

答 令和6年度予算で対応する予定である。



場所：老人福祉センター

『住民と議会と語る会』

出席議員：中倉広文議員、中山美幸議員、

町内に所在し活動するグループ等を対象に募集し、

ごみの収集関係について

問 集落の資源ごみ収集場について、自宅から遠い場合等、新たに設置することはできないか。

答 集落の資源ごみ収集場の要望については、お住まいの公民館長に相談していただいたうえで役場担当課において検討する。

問 違反ごみにシールを貼り付けるのではなく、回収してもよいのではないか。

答 令和6年度以降も、回収時に資源物及び一般ごみに混載があった場合は、今後の分別への協力をお願いする意味で、理由を記しシールを貼付していく予定です。今後も回収せずに残されたものは、各衛生自治会での管理をお願いします。また、違反ごみシールの表現については、今後工夫してまいりたいと思います。
(環境政策課回答)

問 いつでも捨てられるごみ収集場の設置はできないか。

答 「大崎町環境拠点整備事業実行委員会」において、委員より設置の要望があり検討中である。

(要望) 役場窓口でごみの回収に関する意見を提案しているが、担当課が意見に応じてくれないため、住民の要望に関しては真摯に受け止めてほしい。

交通弱者、買い物弱者問題について

問 自ら自動車を運転できない方等に買い物や通院などを行うための移動手段の支援を考えられないか。

答 令和6年度から、町の予算で「おでかけタクシー利用助成事業」を開始する予定である。

問 行政に交通弱者問題についての対策を実行する部署を作ってほしい。

答 現在、役場担当課において交通弱者問題についての対策を実行する部署（企画政策課）を設置している。

問 走るスーパーを運行することはできないか。

答 移動スーパー等民間のサービスを利用することが可能である。

高速道路周辺について

問 大崎インターの高速道路を利用する自動車の交通量が多くなり、道路の振動等の影響がある。どうにかならないか。

答 県議会議員を通じて鹿児島県に道路の振動等の対応について要望を行っている。

信号機設置、街灯について

問 小能集落から県道への十字路に信号を設置することはできないか。

答 信号機設置については、大崎インターチェンジ付近で渋滞を招く恐れがあることから、県警から設置することは困難との回答をいただいた。

問 自宅周辺に街灯がないため、街灯を設置することはできないか。

答 集落内の街灯については、集落において対応していただきたい。

私の想い

持留まつり実行委員会

十年目を迎え



持留春まつり実行委員会
委員長 神野道弘

三月三十一日、「第7回持留さくらさくらまつり」を開催して十年目を迎えました。少子高齢化が進むなか、地域をどうにかしようという想いで始めました。地域を盛り上げるために協議会を立ち上げ持留の代名詞である芝桜が満開になる春の頃にまつりを開催して、地域の皆さんと持留を盛り上げようと思

いました。

しかし、まつりを作り上げるには様々な課題がありました。舞台作り、設置場所、観客席はどうするか、など何度も試行錯誤しながら半年以上かけて話し合いを行い、各集落の公民館長さんや地域の皆さんの協力をいただき、第一回のまつりを開催することができました。

毎年開催する度に、どうしたらもっと地域の皆さんに喜んでもらえるか考えながら十年間続けてきました。コロナ禍でイベントがで

きない時期がありました。ですが、それでも地域の皆さんの協力を得て、コロナ禍を乗り越えて開催できたことは本当に嬉しく思います。

分館役員と春まつり実行委員長と一緒に、行くことは大変ですが、継続していくためには参加者・来場者が「楽しい」と思えることが大事なのではないかと思います。

近年、益々少子高齢化が進んでいます。が、私は、他の活動と共に持留の「まつり」を若い世代に繋げていくことが私の役目であると思います。



持留小学校全校児童によるダンスの披露

編集後記

草木の葉色が一段と色濃くなり、万物の躍動をひしひしと感じられる季節となりました。

さて、三月議会では、皆さまの日々の生活に関わる令和六年度予算や条例の制定など、多岐にわたり白熱した議論を交わし可決しました。

執行部と議会、立場は違えども住民の皆さまの豊かな暮らしを求める目的は全く同じものです。

これからもさまざまな議論を交わし、より良い施策の実現がはかられるよう誠心誠意努めて参ります。

(中倉広文)

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 吉原 信雄
- 副委員長 岡元 修一
- 委員 中山 美幸
- 委員 中倉 広文
- 委員 平田 慎一
- 委員 草原 正和

発行責任者

大崎町議会議長 富重 幸博